

各ルートにおける自動運転の 検討状況（概要）

万博時の自動運転について

想定ルート	① 新大阪駅・大阪駅ルート	② 舞洲駐車場～万博会場	③ 万博会場内の外周道路
	赤色実線：自動運転区間	赤色実線：自動運転区間	赤色実線：自動運転区間
運行主体・自動運転区間	京阪バス、阪急バス	Osaka Metro	Osaka Metro
	淀川左岸線2期を対象とし、運転手が乗車するレベル4相当	レベル4 (今後、関係者間で安全面・技術面及び運用面で検討を進め、実現可能なレベルを決定していく)	レベル4 (万博敷地内) (今後、関係者と調整)
運行車両	京阪バス BYD製 路線バスタイプ1台 阪急バス EVMJ製 観光バスタイプ1台	EVMJ製大型6台	EVMJ製小型4台
インフラ設備	磁気マーカー、ラインペイント 合流支援	磁気マーカー、ラインペイント 信号協調、スマートポール	自動運転のためのインフラ設備は道路の状況により検討中(基本的には車両のセンサー、カメラ等で対応)

スケジュール（想定）

